

交通安全教室を行いました

9月13日(火)の3校時は交通安全教室でした。逢瀬駐在所や郡山北警察署の方や交通教育専門員の方々を講師にお迎えし、実践的な訓練を行いました。

開会式では、警察署の方から6年生に交通安全の反射たすきが渡されました。この交通安全反射たすきは、高齢者向けで夕方や夜間に外を歩く時に身に付けてもらい、高齢者を交通事故から守るためのものだそうです。車から歩いている人の存在が分かるようにするためにも、おじいちゃんやおばあちゃん身に付けてもらいたいと思います。

その後、歩行訓練を行う1～3年生と、自転車乗りの訓練を行う4～6年生に分かれて指導員の方から交通安全についてのお話をいただきました。1～3年生には、「歩道を歩くこと」「歩道では広がらないこと」「横断歩道では一旦止まってし、左右の確認をすること」などの話がありました。



4～6年生には、まずヘルメットのかぶり方と発進時の注意について話がありました。その後、「ブタはシャベル」の話がありました。「ブタはシャベル」とは、自転車の点検のポイントで、

ブ = ブレーキ

タ = タイヤ

ハ = 反射材

シャ = 車体(ハンドル・サドル・ペダル)

ベル = ベル

です。ぜひ、この「ブタはシャベル」を合言

葉に日頃から自転車の安全点検を行ってもらいたいと思います。





交通教育専門員の方の話がおわると、実際に道路での訓練でした。ポイントに警察署の方や交通教育専門員の方に立っていただき、その場その場で丁寧に指導していただきました。県道の交差点では歩行も自転車も信号機のある横断歩道の渡り方を丁寧に指導してもらいました。また、自転車については、発進時や横断時等の安全確認のしかたや道路はできるだけ白線の内側を乗るようななどの具体的な指導がありました。

閉会式では、逢瀬駐在所の物江さんから、「交差点での安全確認について、左右だけでなく、右折車や左折車がいるので、前や後ろから車の確認もしっかりしてほしい」との話がありました。

この交通安全教室で、子どもたちは、交通安全への意識を高めるとともに、自分の身は自分で守ることの大切さを考えることができました。ご家庭でも周辺の交通事情など話題に出して話し合ってみてください。



保護者の皆様、自転車の運搬等にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ふくしま学力調査と全国学力・学習状況調査の結果を配付しました

12日(月)に4年生以上の児童に4月に行った「ふくしま学力調査」の結果を配付いたしました。保護者の皆さんにおかれましては、すでにご覧いただいたと思いますが、一緒に配付しました「保護者用リーフレット」をよく読んでいただき、書いてある特長や結果の見方を参考に結果を見ていただきたいと思います。また、6年生については、全国学力・学習状況調査の結果も配付しましたので、よろしくお願いします。

校長の独り言

26号でも触れましたが、9月10日(土)は十五夜でした。10日の夜は晴れていたため、よく観賞することができたことと思います。

ところで、我が家には28歳になる長男がいるのですが、長男が小学生の時、「天体望遠鏡が欲しい」というので買ったのを思い出しました。その後、長男とは満月などの日はよく天体望遠鏡を持ち出して観測していました。そんな長男は大学と大学院で天文学を専攻し、国内の天文台だけでなく、ハワイ島のすばる望遠鏡まで行って観測するほどの天文学オタクになり、現在は高校の理科・地学の教員です。娘二人はたまに月を見ていましたが、特に興味関心を持つことはありませんでした。子どもの興味関心は何がきっかけで持つようになるかは分かりませんが、長男に関してはこの天体望遠鏡がきっかけだったことは間違いのないと思います。

